

もとぶ議会だより



ハイサイ

第118号

令和元年7月1日
発行

もとぶこどもまつり



こどもアセローラフローズン早飲み大会(本部町産業支援センター:かりゆし市場前)

主な誌面紹介

平成31年3月定例会

- | | |
|-------------------------|----------------|
| ●平成31年3月定例会審議案件一覧……………2 | ●現場踏査実施……………12 |
| ●一般質問一覧……………3 | ●編集後記……………12 |
| ●一般質問(8名)……………4-11 | |

平成
31年

第1回本部町議会3月定例会審議案件一覧

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
報告第1号	専決処分の報告について(町営住宅新里第2団地新築工事(A棟建築))	平成31年3月7日	報告
報告第2号	専決処分の報告について(上本部小中一貫校校舎改築工事<建築1工区>)	平成31年3月7日	報告
報告第3号	専決処分の報告について(上本部小中一貫校校舎改築工事<建築2工区>)	平成31年3月7日	報告
報告第4号	専決処分の報告について(上本部小中一貫校校舎改築工事<建築3工区>)	平成31年3月7日	報告
報告第5号	専決処分の報告について(上本部小中一貫校校舎改築工事<電気>)	平成31年3月7日	報告
報告第6号	専決処分の報告について(上本部小中一貫校校舎改築工事<機械>)	平成31年3月7日	報告
報告第7号	平成31年度沖縄県町村土地開発公社事業計画について	平成31年3月7日	報告
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成31年3月7日	適任
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成31年3月7日	適任
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成31年3月7日	適任
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成31年3月7日	適任
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成31年3月7日	適任
選挙第1号	沖縄県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	平成31年3月7日	
議案第1号	平成30年度本部町一般会計補正予算について	平成31年3月14日	原案可決
議案第2号	平成30年度本部町国民健康保険特別会計補正予算について	平成31年3月14日	原案可決
議案第3号	平成30年度本部町後期高齢者医療特別会計補正予算について	平成31年3月14日	原案可決
議案第4号	機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	平成31年3月14日	原案可決
議案第5号	本部町子ども・子育て育成ゆいまー基金条例の制定について	平成31年3月14日	原案可決
議案第6号	本部町新生児支援金支給条例の一部を改正する条例の制定について	平成31年3月14日	原案可決
議案第8号	本部町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成31年3月14日	原案可決
議案第9号	町道の路線変更について	平成31年3月14日	原案可決
報告第1号	予算審査特別委員会委員長報告	平成31年3月14日	報告
議案第10号	平成31年度本部町一般会計予算について	平成31年3月14日	原案可決
議案第11号	平成31年度本部町国民健康保険特別会計予算について	平成31年3月14日	原案可決
議案第12号	平成31年度本部町後期高齢者医療特別会計予算について	平成31年3月14日	原案可決
議案第13号	平成31年度本部町公共下水道特別会計予算について	平成31年3月14日	原案可決
議案第14号	平成31年度本部町水道事業会計予算について	平成31年3月14日	原案可決
報告第2号	総務文教常任委員会調査中間報告	平成31年3月14日	報告
報告第3号	産業建設常任委員会調査中間報告	平成31年3月14日	報告
発議第1号	本部町議会傍聴規則の一部を改正する規則について	平成31年3月14日	原案可決
意見書第1号	国連各委員会の「沖縄県民は日本の先住民族」という認識を改め、勧告の撤回を求める意見書	平成31年3月14日	原案可決

平成
31年

3月定例会一般質問一覧

質問順	質問者	質問事項
1	宮城達彦	1.瀬底一周道路について 2.瀬底クンリ溜池について
2	小橋川健	1.公立北部医療センターについて 2.県への要請について
3	真部卓也	1.クルーズ船の受け入れ体制について
4	具志堅勉	1.学校給食費の無料化は可能か 2.成人式の式典について 3.国道449号道路拡張に伴う夕市のあり方について
5	具志堅正英	1.県立北部病院と北部地区医師会病院の統合・再編による北部基幹病院について
6	仲宗根須磨子	1.クルーズ船の受け入れ体制について
7	松川秀清	1.運動公園施設の維持管理はどうなっているか 2.球格技大会の対応はどうなっているのか
8	喜納政樹	1.施政方針演説より

※議会だよりに掲載されている一般質問の内容は、各議員が会議録に基づいて要約したものを掲載しております。

1. 瀬底一周道路

2. 瀬底クンリ溜池



一般質問
宮城 達彦 議員

宮城議員 瀬底一周道路について、進捗状況をお伺いいたします。

町長 瀬底一周道路は北部連携促進特別振興対策事業を活用し、瀬底島一周線道路改築事業として採択されております。当該事業は、二〇一七年度から二〇二一年度までの五カ年計画となっております。総延長が三千八百二十五メートル、用地取得面積一万九千六百八平米の事業規模となっております。現在、道路実施設計業務、用地測量業務、物件調査業務等が完了し、用地交渉に着手しているところであります。なお、地権者の十五パーセントから同意を現在得ている状況でございます。

宮城議員 幅員は、七

七五メートルに変わりはしないでしょうか。

副町長 幅員は七・七五メートルに変わりはございません。

宮城議員 それだけの幅員があれば、将来的には利用価値が多分あると思います。その道路の中から水道管の埋設の計画はないかどうかお伺いします。

公営企業課長 水道事業計画には今入っていませんが、見直しをして検討していきたいと思っております。

宮城議員 これはぜひ当局のほうで全力で力を注いでほしい。これはたしか北部振興事業ですよね。定住推進事業ということになっていますよね。そういうことは、こちらのほうに宅地等も可能ですよね。

副町長 基本的に北部振興事業で定住促進、そしてまた産業振興という目的でこの道路が採択されております。将来、住宅ですとか、こちらに移住して家を建てたいとかという意

向もあるかと思えますので、家を建てたいとかという申請があれば産業振興課とも調整しながらケース・バイ・ケースで対応していきたいと考えております。

宮城議員 今後、行政のほうから県のほうに農振農用地の削除、これを私はやってほしい。これに伴って町の人口増加、あるいはまた瀬底の活性化につながると思います。町長いかがでしょうか。

町長 宮城議員からの町の発展のためには水道事業の整備、それに伴い住宅地の確保をというような、切実な願いだということ承っております。農振について外せる部分については当然これは外して、そして若い皆さんの住宅などに誘導できればと思っております。

宮城議員 今後の年度別事業計画についてお伺いいたします。

町長 二〇一九年度は約九千八百平米の用地取得を計画しており、

道路工事については、島の北側約九百メートルを整備する計画をしております。二〇二〇年度には用地取得面積約六千三百平米、島の北側及び西側の約千七百メートルの道路工事を計画しております。事業最終年度となりますが、二〇二一年度においては、用地取得面積三千五百平米、島の南側及び北側二百メートルを整備し事業の完了をそのときに予定しております。

宮城議員 ホテルの開業時に一周道路の一部開通ができないかお伺いいたします。

町長 工事の道路計画としましては、起点部からホテルまでのアクセス区間約千九百メートルのうち、二〇一九年度末時点では約千九百メートルの整備を見込んでおり、残り約八百メートルの整備については二〇二〇年度に完了予定となっております。ホテルの開業に伴い、観光客による島内

交通量の増加が予想されておりますが、こうした混雑等の影響を最小限度にとどめるよう、早期の事業完了に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

宮城議員 瀬底クンリ溜池について、進捗状況と完了年度をお伺いいたします。

町長 当該瀬底ため池整備改修事業は、国庫補助事業による地域農業水利施設ストックマネジメント事業を活用し、二〇一七年から二〇一九年度の三年計画で現在実施しております。二〇一七年度にポンプ小屋、二〇一八年には溜池擁壁の一部を整備しております。二〇一九年度は事業計画の最終年度となっております。残工事を速やかに進め、農家への安定的な水量確保を図ってまいります。

宮城議員 行政の早い判断で水を利用している農家の皆様が助かり安心して生活しております。

1. 公立北部医療センター 2. 県への要請



一般質問

小橋川 健 議員

小橋川議員 県内でも我が北部地域は少子高齢化が加速度的に進む地域であります。北部病院、医師会病院で医師や医療設備の不足や機械などの不備などのさまざまな要因から全体の患者の方の約三割が地元で治療が受けられず、医師や医療設備の整った中南部の病院へ通わざるを得ない、大変不自由な選択を迫られる状態が続いており、産婦人科が北部にないことも少子化問題に影響を及ぼしていると考えられます。この現状を鑑みて、基幹病院の設立に向けた要請行動をしていただくとともに、より地域のニーズに合った地域の住民が望む、北部地域完結型の公立病院をつくらせていただくために、これからの汗をか

いていただきたいと考えて、要請したいと思っております。北部基幹病院の設立に向けた町長のお考えと意気込みをお伺いします。

町長 この基幹病院については、本当に早急に合意形成などを取りつけないと、その基幹病院の整備に向けて取り組まなければいけない最大課題だと思っております。だがしかし、大きな、越えていかなければいけないようなハードルがあります。その基幹病院を設立するに当たっての財源の確保をどうするのか。県もできるだけ少ない自主財源でやりたい。市町村も、これまでの経緯からすると、市町村財源に障害のないような形での、いわゆる最小の財源で対応していくという思いの中で、この財源というものをまずどこからどういった形で確保していくのかというところがまず一点目にクリアしなければいけない

重要なことだと、こう考えております。さらに現在、新しい提案として、県と北部十二市町村とが設置主体になるというような提案等もござりますけれども、そうしたときに、その後の主体的な財政、病院を維持するための財源等についてもまたどうなっていくのかということも視野に入れなければいけないです。早いうちの部分の中で、早いうちでそういった課題もあるといったことを頭に入れながら、できるだけ早いうちに新しい基幹病院ができるような、整備されるようなことで、早いスピードでその協議を我がほうからも進めていきたいと考えております。

小橋川議員 本港の現状を調査して、県にさらなる港湾設備の必要性を訴えていくべきだと考える中で特に外灯が不足しているというところで、私、去年三月も同様の要請をさせていただきましたが、

その後も県に対して要請をしていただいているというところなので、さらに継続して、今ひとつ、明るさとか安全面をもう一度確認して、調査して整備を県のほうにかけていただくように要請していただきたいと思っております。町長にまたこの問題について一言答弁をお願いします。

町長 安全性の部分の中で港湾全体を点検しながら、修理修繕すべきところはどんどん県のほうに要望、要請しながら、一つ一つ改善修繕をさせていくように働きかけていきたいと思っております。それができないぐらいであれば、港湾そのものを皆さんで管理していただきたいというぐらいの強い気持ちを持つていきますので、県の当局、港湾課のほうに当たっていききたいと考えております。

ともあり、日常的にかのスピードで車が往来する区間となっている中で、特に塩川から瀬底大橋のあたりまでの車線は街灯が少なく、大変危険な状態が続く中で、事故が起こっております。現在、塩川から健堅の瀬底大橋にかけては、夜、私も利用させていただいておりますが、大変なスピードで車が往来していく中で、圧倒的に街灯が少ない状況が本当に続いております。県ともしっかり協議をして、改善していかないといけないと思っておりますので、この事案に対する町長の考えをお聞きします。

町長 道路の安全、安心の確保、それは最重要課題であると認識しております。警察サイドとも相談しながら、また所管する国道事務所に通いながら逐次対応していききたいと考えているところであります。

クルーズ船の受け入れ体制



一般質問

真部 卓也 議員

真部議員 クルーズ船受け入れ体制の進捗状況について。

町長 受け入れ体制の進捗状況につきまして、本部港クルーズ促進協議会が設立されており、組織の作業部会が中心となって活動をしてきたところであります。構成は、本部町、観光協会、商工会、沖繩美ら島財団の四団体で、活動を強化する為、新たに観光関連企業五団体が加わり、組織の拡充を図ったところでありあります。

真部議員 港湾整備状況について。

町長 港湾の整備状況については、沖繩県が整備を行う事となっております。今年度は岸壁延長工事及び浚渫工事を行っており、次年度も引き続き整備を行

い、二〇二〇年四月供用開始の予定となっております。またターミナルビル建設についてもありますが、現在、沖繩県と船社との間で協議中との事であり、具体的な着工日程については、今、決定するような状況にないという事でございます。今後も沖繩県及び関係者と連携し、クルーズ船受け入れ促進に努めてまいります。

真部議員 C I Qの問題について。

町長 C I Qの件で船社と県のほうで調整しているという事があります。船社はC I Qが整う、その前提の中で船を着けるといふ考え方、いわゆるターミナルに対する資本投資について、C I Qが整う事によつてのみ、資本投資をするという事を言っているようにございます。国のほうはまた逆に、年間百回以上の寄港の予定を見るこ

Qは対応出来ないというふうな国の考え方があります。そういった中でターミナルビルへの投資が遅れるという見通しをしている所でもあります。このC I Qについては今後のクルーズ船観光拠点としての最重要事項、いわゆるファーストポイントとして作り上げるといった中で最重要事項であるので、担当大臣、国の担当部署、県の担当部署に要望・要請をしております。さらに、このクルーズ船寄港によつて、ただ沖繩の北部地域の利益という事だけではなく、それに基づいて外貨を稼ぐ、国全体としての外貨稼ぎの拠点として使用したいので、国交省としても考えていただきたいという事、国交省サイドに要望をしております。窓口は県になりますので、県と国との交渉という事になるのかと考えております。

真部議員 ターミナルビル設置の遅れが考えられるが、C I Q問題への対応と今後のクルーズ船受入体制について

町長 県サイドにその都度、状況と動きについて市町村にぜひ情報を告げてもらいたいという強い要望をやっております。その中でファーストポイントとしての利活用ができなかったときには、それなりに寄港を予定する船については対応できるような形で、仮設の建物を用意しながら受け入れると、そういうことまで視野に入れながら対応していきたい。現在のところ、県のほうからそういった答えが出てきておりまして、市町村自治体として、どこまで出来るのかということも考えております。国家プロジェクトとして、クルーズ船を含めた観光立国というふうな大きな国家プロジェクトとして進んでいるところでございます。港湾の、恐らくハード部分だけで、約ですけれども、五十億円ほどの国家予算の投資が我が本部港において、あります。町としてもできることについては全て対応の手だてをやらなければいけないというふうな、そんな認識を持っております。行政の機能だけではそれはまたカバーできない部分もありませんので、団体・企業体も含め十分な連携ができるような体制、そして的確な情報を入手し、伝達できるように行政機能などを構築しながら対応ができるような体制を実施しなければいけないし、そのつもりで対応しているところがございます。

1.学校給食の無料化は可能か

2.成人式の式典

3.国道449号道路拡張に伴う夕市のあり方



一般質問
具志堅 勉 議員

具志堅議員 一、学校給食費の無料化は可能か。

教育長 県内において給食費の無償化を実施している市町村は、名護市、金武町、嘉手納町、与那原町、粟国村、渡名喜村、多良間村の七市町村であります。本町といたしましては、現在、沖縄県子ども貧困対策推進事業交付金を活用し、全体の約二割の準要保護世帯に対して給食費の無償化を平成二十九年より行っております。学校給食費の無料化は可能かについてであります。ですが、無料化については多額の費用を必要とするところから、今後の町財政の影響が懸念されます。現在のところ、全世帯に対しての給食費の無料化につきましては、

ては、限られた町財政の影響が大きいのしかかるため、無料化は非常に厳しいと考えております。

具志堅議員 私が今回の無償化の質問にいたったのは、もちろん町民の要望でもありますが、他にも理由があります。町財政の一般会計の歳入の部分に地方消費税というのがあります。

二〇一七年度、二億三千五百十三万六千円だったものが、今年度、二億四千四百万円というふうになっています。恐らく十月一日から消費税税率十%に伴う増額分ではないかと考えております。半年で九百万円、一カ年で換算しますと次年度は増額、約二千万円は見込めるんじゃないかと考えています。そして、幼稚園児から小中学生まで千三百十八人います。その中で約五千四百万円分の給食費がありまして、それから先程、説

明がありました二割の給食費、約千百万円を差し引くと、残り約四千三百万円をどうにかすれば、無償化にいたるのではないかと私的に考えております。地方消費税の増額分と合わせて、ふるさと納税も一億七千万円を超える寄付が見込まれております。その一部を有効活用できれば何とかなるのではと考えています。町長の見解を伺います。

町長 子育て世代がいかにこの町に定住できるか、これは最重要事項だと常日頃考えております。一挙には無償とはいかなくても、現状より軽減できるようなシステムはないだろうかかと考えているところではあります。そういったことで気持ち上げ無償化したいんですけど、財政の部分で裏づけをどう継続的に確保できるのかといったような見通しをつけながら検討していきたいと考えております。

具志堅議員 二、成人式の式典について、成人式の式典の日程変更は可能か。

町長 県市町村の式典日の割合については、四十一市町村中十九市町村で本町と同様の成人の日の前日に開催され、成人者が参加しやすい日程として多く採用されております。現時点では日程を変更する予定はありませんが、主役であります新成人者及び保護者から日程変更の希望が多いようであれば検討をしたいと考えております。

具志堅議員 来年、成人者を迎える保護者に対して日程についてのアンケート実施は可能でしょうか。

総務課長 成人式は新成人者のために行うものでありますので、新成人者にとって一番適した日程はいつなのか、あるいは保護者から見ていつなのか、これは重々、今後アンケートの実施等を考えまして、本当に成人者

にとつて一番いい日程はいつなのかということとを再度、本部町に適した日程を考えさせて頂ければと思っております。

具志堅議員 三、国道四四九号道路拡張に伴う夕市のあり方について、国道四四九号沿いの産業支援センター前の駐車場が削られる予定ですが、今後の夕市の方角性をお伺いします。

町長 もとぶ元気夕市は地域のコミュニケーションの場に提供等をテーマに、毎週土曜日開催され、百回を超えるイベントとして定着しております。国道四四九号の拡張工事に伴い、現行の道路から約八メートル程、建物側に幅員が広がる工事内容となっております。しかし、工事着工の期的な面での調整はこれからであり、道路整備が進んだ中で関係機関と調整の上、よりよい開催に向けて進めていきたいと考えております。

県立北部病院と北部地区医師会病院の 統合・再編による北部基幹病院



一般質問

具志堅 正英 議員

具志堅 議員 平成

二十九年三月二十四日に行われた北部地域における基幹病院の整備を求める北部十二市町村住民総決起大会の要請決議を受けて沖縄県と北部十二市町村と北部医師会病院は、平成三十年一月から今日まで六回の協議会が行われた模様であるが、その協議会の内容と進捗状況の説明を求めます。

町長 県立北部病院と北部医師会病院の統合・再編による北部基幹病院について、まず沖縄県、北部十二市町村、北部医師会病院による協議の内容及び進捗状況について説明いたします。協議会では第一回目に、今後の協議の進め方のほかに統

合に当たったの整備すべき課題についての県の考え方などの説明を受け、意見交換を行っております。二回目以降につきましては、主に基幹病院の整備に係る基本的枠組みに関する合意書の内容についての協議が行われており、現在の進捗状況につきましても、基本的枠組みに関する合意書について協議が継続して行われている状況でございます。

具志堅 議員 北部基幹病院の整備については協議が継続中という点とありますが、県から提案がある北部基幹病院の設置主体であるとか運営主体とか、そういう組織の構成について答弁を求めます。

保険予防課長 合意書はあくまでも案でありまして、その中身といったしましては、名称を公立北部医療センターとする、設置主体は、

県及び北部十二市町村による一部事務組合、運営主体は、指定管理者制度を利用して指定管理をすること等が、今提案があるところであります。

具志堅 議員 この北部基幹病院、名称は公立北部医療センターという案があるということですが、指定管理を受けると県と北部十二市町村と法人が北部医療センターとして設立するという、この理解でよろしいですか。

保険予防課長 新しく設立する財団につきましても、あくまでも指定管理を受ける病院をするほうです。設置に

関しましては、最初に説明いたしました一部事務組合、一部事務組合から財団に関して、指定管理により運営を委託するという形になります。

具志堅 議員 この新しい北部基幹病院、公立北部医療センターを県立北部病院と北部医師会病院を統合することによって、北部十二市町村の住民総決起大会で決議しました七項目。これは北部の病院の医療のほとんどの課題が解消できる見通しがあるのか、伺います。

保険予防課長 業者からの総決起大会で上がりました七つの項目です。この解消のためには今回統合した北部基幹病院が必要だということでも方針を表明されております。また、今おっしゃっている中身については合意書が交わされた後に基本構

想等の策定があると思われまので、その段階でまた具体的な話になるかと考えております。

具志堅 議員 この北部地域における基幹病院の整備を求める決議案の七項目、この七項目

のほかにも、これからいろいろな課題になってくる問題があると思えます。まずクルーズ船が入ることによって外国人の方が多くなりますので、その外国人の方の救急の医療をどうするのか。言葉の問題とかありますので、それからこの間、離島からの患者のための入院した場合の付き添いの人の泊まる宿をどうにかしてほしいということもありません。そういう利用の皆さんのこういう要望にも応えていけるような、しっかりと

かりした北部基幹病院をつくるように、本町も北部十二市町村も沖縄県も、三者、四者が一体となって取り組まないと、この課題はなかなか解決するのは難しいと思っております。これから早目に整備協議会を発足できるようによろしくお願

いしたいと思います。

クルーズ船の受け入れ体制



一般質問

仲宗根 須磨子議員

仲宗根議員 真部議員がほとんどの質問をしておりますので、なるべく重複しないようにやっつけていきたいと思いません。それでは具体的にクルーズ船が寄港した時に最初に考えるのがトイレの数が足りているかという事です。今、備瀬区では観光客に公民館のトイレも提供している状況です。二千人規模の観光客が本部に、繰り出してきた時に、このトイレの対策はどうするのか。

商工観光班長 このターミナルに関しては、県とゲンティン香港との協議の中で進められている。千人以上来られるときの対応として、トイレの数等もしっかり踏まえて建設を進めるように、県のほうに要請していきたいと

思います。

仲宗根議員 次に、石垣島の実情を二例あげます。石垣島ではクルーズ船の入る時刻になると商店街のシャッターを閉める店があるとの事。集団万引きへの対応ができず、売り上げよりも万引きされるほうが多いという事です。もうひとつはごみの問題。観光客は公園や町なかのベンチなどで弁当を食べた後、その食べ残しや容器を散乱させて、そのまま立ち去るとのこと。マインラス面ばかりを考えたくないのですが、実際、石垣であることは本部でも起こりうる可能性がある。そういう方面への対策は。

商工観光課班長 クルーズ船に限らず、インバウンド客に対するマナー改善を図るために多言語でのマナーについての説明や、万引きに関しては事業所等でもぜひ努力してもらいたいと思っております。ごみに関しては実

際に備瀬区でもトイレにごみが捨てられたりと言う事がある。そういう事に関してでも基本は持ち帰るということで表記を進めていきたいと思えます。

仲宗根議員 ごみ問題について提案がありまます。スーパリーやコンビニの手提げビニール袋を町指定のごみ袋にできないか。観光客にもわかるように数ヶ国語で表記し、同じく数ヶ国語で書かれた案内板も立てる。近くのごみ箱に持っていくよう促す。一般家庭においても、少量のごみを出すときに便利で家計も助かる。

仲宗根議員 いろいろ述べてきたが最後に、海洋博公園、特に美ら海公園、特に美ら水族館に満足してそのまま帰ってしまう観光客を、町の中や地域に足を運ばせるには、本部にしかないよさと文化を知ってもらうことが大切だと思う。一つ例を上げると私の友人が

民泊を受け入れているが、いつも天然記念物の塩川に連れて行く。世界でプエルトリコとここにしかない貴重な川だという事を説明して、二リットルのペットボトルに塩川の水を汲んで家に持ち帰る。本当に塩分が含まれているかどうか確かめるために二時間ほど火にかけて水分を蒸発させると、見事に塩が出来る。そして二時間のあいだに民泊の生徒たちといっしょに作ったお守り袋にその塩をいれてお土産として持たせている。この民泊を体験した子供たちにとって、一生の思い出になり、さらにリピーターになる可能性が大きいと思う。これは本部町でしか体験できない事であり、こういう体験は観光客にも喜ばれるのではないかと。しかし友人が言うには最近は大雨の後に、白く濁った水が湧き出ている、水が汲めない日もあるとの事。大事な観

光資源を守る対策も早急にやりながら、この本部にしかない良さと文化を観光客にも提供していけるような環境をつくる努力をするべきだと思う。静岡県では観光のメインの富士山が見えるのは年間たったの百三十日しかないということでした。そのため富士山が見られない日もいろいろと工夫をしているとのこと。本部町も記念公園だけでなく、他にもすばらしいところがたくさんあるので、それを大事にして観光に生かすために知恵を出し合って豊かな本部町になるように努力するべきだと思う。町民の中には素敵なアイデアを持っている人がかなりいると思う。まずはそのアイデアを募集して、チェックし、どんどん生かしていくこと。クルーズ船受入推進班には、そういう作業を早急に行っていたきたい。

1.運動公園施設の維持管理はどうなっているか

2.球格技大会の対応はどうなっているか



一般質問

松川 秀清 議員

松川議員 おはようございます。これより一般質問を行います。まず一点目、運動公園の維持管理はどうなっているのか。

一、トイレの保守点検、修繕はどのようなようになっているのか伺います。

二、その他にも修繕箇所があるか伺います。

三、運動公園グラウンドの公認競技場申請について伺います。

次に体育館で行われるバレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン等の設備は整っているか伺います。

教育長 運動公園の維持管理はどうなっているかという件でございますが、まず一点目、トイレの保守点検、修繕につきましては、指定管理者から連絡を受

け、運動公園や体育館において修繕等が必要な箇所は確認しております。今後は、予算に応じて修繕を検討していきたいと思えます。

二点目のその他の修繕箇所があるかについてでございますが、体育館内のスタンドの手すり、トレーニング室横のバルコニー、運動公園の時計が故障していることを確認しております。平成三十一年度予算にて修繕を予定しております。三点目の陸上競技場申請についてでございますが、平成二十四年度から平成二十九年度の十一月までは第三種の公認競技場でありました。公認を受けるとは、施設基準に沿った備品、設備の更新が必要となり、施設等整備には多額の金額を要することから、公認申請を見送っているところであります。今後は公認競技場として、郡大会を開催するのかを

踏まえ、施設の整備及び公認の競技場申請を行うのか、あわせて検討していきたいと思えます。球格技大会の対応はどうなっているのかという質問でありますが、バスケットボールやバレーボールについては公式試合が可能で、整備は整っており、地区や県大会等を行っております。卓球については公式試合が開催できるよう、設備等の整備を検討していきたいと考えております。

松川議員 ただいまお答えをいただきました。トイレの箇所は、体育館のほうから連絡をもたせて把握しているということであります。そのほかにも時計、バルコニー、手すり、それから正面の鉄骨のさびなども非常に気になりますけれども、その辺のことを、体育館のほうには住民から結構訴えがあるらしくて、それを伺って役場のほうに連絡を入れてい

る。そのような形で住民からの知らせでわかる。あともうひとつには、町の職員の方々が回って、しつかり気づくようにしてもらいたいんです。

教育長事務局長 連絡を受けまして、まずはやはり現場を確認し、業者見積りをとりまして、見積りを確認してですので、見積りを受けるのに多少の時間を要するということもありませんので、そこをなるべく早急な対応ができるように財政当局と予算の調整をさせていただきます。早目に対応したいと思っております。

松川議員 町長の日本一心豊かな我が町づくりを目指すとこのころがありますけれども、その辺、利用する方々が不満を感じないように楽しく利用できて、楽しく体力づくりができる、そういう場所にしてもらいたいと思えます。住民の方々も気づ

いたときに訴える。それをせひやってもらいたいし、あとは訴えるだけではなくて、軽い故障とか軽微なものは、自分でできるものはボランティアでやる。住民と行政が一つになってボランティアをしながら、そしてまた訴えられたことに対して、即答できるように町でなくては、心豊かな町はなかなか育たないかと思えます。

町長 今、議員のほうから、ある対応のおくれについてのご指摘がございました。議員がおっしゃるような一般の住民の声も大切なわけですけれども、そういった声が発する前に定期的に施設整備の巡回などもやりながら、本当に地域住民が使いやすいような、より高いレベルのサービスを提供できるような対応をしたいと思っております。

『施政方針を問う!!』



一般質問
喜納 政樹 議員

喜納議員 施政方針の中から伺ってまいりたいと考えております。農畜産業の振興について、役場組織内での機構改革により生産振興班を生産マーケティング推進班に名称変更するようだが、具体的に何がかわるのかを伺います。

町長 来年度から班の名称を生産マーケティング推進班に変更する目的といたしましてはこれまでの生産段階を中心とした支援から、新たな時代を見据えて販売戦略、いわゆるマーケティングを意識した農畜産業への転換が必要という考え方であります。先ほども述べました現行の支援等を行う際に、販売戦略を意識した支援を行うことにより、農畜産業

者の所得の向上が図れるものと考えております。生産した品目は、生鮮食品及び加工商品として確実に販売につながる体制を構築する為、生産マーケティング推進班に名称を変更し、販売戦略の強化を図ることを目的としております。

喜納議員 辺名地ダムの改修を見据えて、かんがい排水施設の事業化に向けても検討していくとあるが、どのような事業内容なのかを伺います。

町長 辺名地ダムは昭和三十四年に当時の琉球政府が整備に着手し昭和三十六年に完成、共用を開始した施設でございます。ダム完成後、約六十年が経過し老朽化が進んでいることから現在、沖縄県がため池等整備事業を活用しダムの改修計画をしております。本町といたしましては、ダム改修に合わせ、県土地改良事業で整備した辺名地地区へダムから

直接営農用水を供給できるようにかんがい施設整備を行い、農業生産性の向上と経営の安定化、営農経費の削減を図ってまいりたいと考えております。

喜納議員 観光の振興について、観光協会、商工会、沖縄美ら島財団等を含む十団体による本部港クルーズ促進協議会を組織し体制強化を図るとあるが、協議会の役割を伺います。

町長 本部港クルーズ促進協議会の役割につきましてはは、クルーズ船誘致や受入時の観光案内所設置、特産品紹介、歓迎セレモニー等乗客の満足度を高めることがその大きな役割となっております。構成団体が商工会、観光協会、沖縄美ら島財団、JAおきなわ、飲食業組合等の町内民間団体や観光関連企業などが参画しております。当該、観光関連団体が持つ個々の機能を発揮し、また特性等も発揮

させながら、かつ機能を総合化する事により現場での受入体制の構築を図ることとしております。

喜納議員 福祉の充実について、子供の貧困対策の中で教育支援員の拡充とあるが、教育支援員とは何を指すのかを伺うとともに、教育支援員は前年度より何名程度、拡充増員されているのかを伺います。

教育長 貧困対策においての教育支援についてはでございますが、貧困と学力の相関が近年の調査研究により明らかになっており、生活保護、就学援助等の社会福祉的側面からの金銭支援だけではなく、貧困から脱するために児童生徒の学力の底上げが必要とされてきております。ここでいう教育支援とは、児童生徒の基礎的な学力の定着を目的とする学習支援等を指しております。教育支援員は、町内各学校に配置

している学力向上推進教師、特別支援教育支援員、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員、教育相談員及びこども支援員等のことで、平成三十九年度は学力向上推進教師十三名、特別支援教育支援員十九名、スクールソーシャルワーカー一名、心の教室相談員一名、教育相談員一名、こども支援員二名の合計三十七名を配置してまいりましたが来年度は業務内容の見直しにより、特別支援教育支援員と新たに学習生活支援員とに業務分担し、学力向上推進教師十四名、学習生活支援員を十四名、特別支援教育支援員を八名、スクールソーシャルワーカーを二名、心の教室相談員一名、教育相談員一名及びこども支援員二名、合計四十二名となり五名を増員し子どもの貧困対策と学力向上に対策してまいります。

現場踏査実施

3月定例会にて現場踏査を行いました。主な箇所を掲載します。



伊野波橋橋梁整備工事



水道管理センター非常用電源設備工事



八重岳親水性護岸整備工事①



八重岳親水性護岸整備工事②



上本部小中一貫校校舎建設工事



新里第2団地新築工事

編集後記

心地よいうりずんの季節も終わり、梅雨に打たれて、夏を待ちわびる時期ですが、町民の皆様はどうお過ごしでしょうか。

我々、議員も議会において、様々な町内における案件を審議、検討し、町政に反映させるべく議論を交わしております。常々、思う事ではありますが、町民の皆様におかれましては是非、町議会開会中に傍聴に足を運ばれて、現在、町政において何が議論され、どのような決定が行われているか、その過程から見て頂きたいと考えております。

町民の皆様の傍聴が増える事によって、私共、議員の更なる発奮も有る事かと考えますので議会傍聴を切にお願いいたします。

議会広報委員

小橋川 健

もとぶ議会だより

ハイサイ 第118号

発行 本部町議会

編集 本部町議会広報

調査特別委員会